

資源集団回収

取り組みの概要

市民総ぐるみのごみ減量・資源化運動の展開を図るための事業の一環として、昭和55年度に資源モデル事業を開始。昭和60年から全市的な取り組みとして、回収された資源の量に応じて活動資金となる「資源集団回収奨励金支給制度」を設けました。平成4年11月から町内会毎月1回「資源回収の日」を設定し、資源化運動の拡大を図っています。

協働のきっかけ
地域の環境保全などに対する自治活動と市の資源化施策の考え方を一体化させるものとして、地域や市民レベルでごみ減量と資源リサイクル運動に対する意識の高揚をねらいとしたものです。



協働の成果
市内町内会において約8割程度が実施しており、実施団体は700団体を超えているなど、市民意識の定着化が図られてきました。

協働のポイント

新規の実施団体はなかなか増加しない現状にあります。

